

1日化学体験教室では高校生の皆さんに以下のような実験を体験してもらいました。

日時：2015年11月1日

場所：千葉大学 工学部4,6号棟-各学生実験室

講師： 中村将志、山田泰弘、大窪貴洋、桑折道济、天野佳正、斎藤恭一、原孝佳、河合（野間）繁子

プログラム： 次世代才能スキップアップ プログラム 基礎力養成講座

講座名『身の回りの不思議を、実験を通して探求しよう』（以下5つのテーマで構成されている）

「シリカゲルを作ろう」「電池を作ろう」「日焼け止めを作ろう」「ポリマーを作ろう」「着色ガラスを作ろう」

【講座の流れ】

- ① 受付
- ② 挨拶（学科の説明、講座の説明、各テーマにグループ分け）

以下、各テーマごとに各実験室に移動し、担当教員のもと、講義と実験を行った。

- ③ 講義
- ④ 実験の材料及び手順の説明
- ⑤ 実験
- ⑥ まとめ・総評

【講座内容】

本講座は、普段生活の中で用いられている身近なものがどのような化学反応の元に作られているのかを実験を通して体験する講座である。これらの化学反応は工学部共生応用化学科の有機、無機、物理化学、及び高分子の授業の中で学ぶ基礎的な化学反応である。各実験の前に簡単な講義を実施し、そのあとに実験を行った。

【受講生の様子】

生徒たちは、自分たちにとって身近なものを実験の中で自分の手で作り出せることに感動していた。また、普段最先端の研究をしている大学の先生に指導を受け、研究に励んでいる大学生や大学院生から講座以外の研究の話を生で聞くことができ、充実した時間を過ごすことができたようであった。

